

政令指定都市の取組事例

資料2
H24.9.25

	さいたま市	川崎市	相模原市	京都府	福岡市
全職員に占める区役所職員の割合	18%	25%	6%	33%	27%
区長への事務委任状況	18	32	10	37	58
予算配分方法	上限のある予算枠内で各区が要求	各区一律5.5百万円を配分 各区の状況に応じ予算枠の範囲内で配分	各区が枠内要求予算として要求	約5割は均等配分、残り約5割は人口配分	各区が直接財政担当部局へ予算要求
区単位の住民自治に関する組織	有 区民会議	有 区民会議	有 区民会議(緑区、中央区、南区)	有 区基本計画推進組織を設置	無
名称	見沼たんぼ市民ネット	川崎区企業市民交流事業		松尾助っ人の会	多々良川ゆめプラン事業
目的	農業生産の場としての見沼たんぼを維持しつつ、自然、歴史、文化を市民のかけがえのない環境資産として大切に守り育て、後世へと伝える	企業の地域社会への貢献活動の機運を高めるとともに、企業・市民・行政の三者が連携して生活市民(住民)と企業市民の交流の場づくりに取り組む	廃校を活用した地域活性化	活動の中で人とのつながりや会話を通じて、暖かいやさしい心のつながりのある地域づくりに取り組む	多々良川を東区の貴重な地域資源と位置付け、川を活かして地域住民が親しみ大切に活動をとおして、川の魅力を高める
実施団体	見沼たんぼ市民ネット さいたま市、NPO、地域団体の代表者	川崎区企業市民交流事業推進委員会 企業・地域団体・小中学校の長、公募市民(15名) インタラクティブかわさきネットワーク 企業・地域団体・小中学校の代表者(38名)	篠原地域振興協議会 自治会、老人会、消防団等の地元組織代表 NPO「篠原の里」 自治会代表者、地元の芸術家など	松尾助っ人の会 社会福祉協議会メンバー、民生児童委員、老人福祉員	多々良川ゆめプラン委員会 流域住民、NPO・ボランティア団体、上流の自治体
事業内容	平成23年度 ・写真コンクール、クイズラリー、清掃活動	平成23年度 ・社会貢献活動スキルアップセミナーの実施 ・かわさき区の宝物ガイドマップ(改定版)の発行	・宿泊事業、農業など各種体験事業 ・保育園・子育てサロン運営 ・レストラン運営 ・地域通貨「篠券」の発行など	松尾学区の70歳以上の独居者などを対象に、電球の取替えなど日常的事務(専門的なものは除く)で手助けを無報酬(実費負担)で行う	わくわく体験事業 上流から下流までの流域住民が楽しく参加しながら多々良川の魅力に触れることのできるイベント
行政の役割	・情報の発信(ホームページ開設) ・委員会事務局 水と緑のネットワークの展開 ・水と緑の拠点形成 ・水と緑の連続性の確保	・委員会事務局 ・事業の運営費用の支給	・初期投資事業費の補助 ・観光事業としての広報 ・廃校の無償貸与 跡地利用と施設管理	・団体設立時の実費補助 ・西京ネット(広報PR)による活動報告	・多々良川ゆめプラン委員会の事務局 ・市政だよりやHPによる情報提供 ・負担金の支給
課題	・団体間の目的、方向性の違いによる対立	・組織のスリム化(一本化) 企業に負担感あり ・新たなテーマの企画がでにくい 20年以上続いている	・特定の住民しか参加利用していない 普通の住民は参加しても出来ることを見つけにくい ・過疎地のため交通手段が少ない ・住民間の地域活性化に対する意識の差	・会員の高齢化 ・障害者(精神、朦朧)からの対応	・人材育成 ・情報共有やネットワーク化の推進 ・自立した運営のための仕組みづくり
その他	見沼ネットには18団体の市民団体、NPO法人が加盟。それぞれに、観察会、ガイドマップ作成、フォーラムの開催、清掃活動など地域に根ざした活動を行っている。	かわさき区の宝物ガイドマップ「宝物」の基準がなく個人商店なども入り広告となっている	職員研修の一環で実施。地域団体の活動へ参加し事例をまとめプレゼンを行う。 市民協働の視点を養う 市民活動の理解と参画		